

4期目に挑戦！ 原八郎の八策

- 1 企業経営のノウハウを鎌ヶ谷市の財政運営へ
余裕のできた財政を、遅れた道路・下水に重点を移し、今まで以上に推進。
- 2 中高年の元気なパワーの活用（市民協働）の場づくり
行政が外部に出す委託事業には、元気で優秀な中高年のパワーで実行できるものがたくさんあります。
- 3 予防医療・介護の推進と各種検診の普及（健康保険財政の破綻を防止）

4期目の活動目標

◆予防医療・介護の推進

- ①ジェネリック医薬品の普及促進（医療費削減）
- ②ピンピンコロリ運動の推進
- ③認知症予防教室の拡充

◆健康診断の受診奨励

- 特に女性特有のがん検診率の向上。（乳がん検診、子宮頸がん検診）
- がんは早期発見できれば、除去手術で完治できます。

- 4 乳幼児（3歳児まで）の子育て教育の重要性の啓蒙。保育休暇3年間義務付け

◆乳幼児、子育ての大切さの啓蒙。私たちの責任で！

乳幼児期に脳細胞の大部分が発達します。中でも「眼窩前頭皮質」は、3～4歳の乳幼児の時期までにしか成長できない脳細胞で、正しい判断や行動、感情のコントロールに重要な働きをしています。この発達には愛情とスキンシップが重要です。母乳・添い寝・抱っこ・おんぶです。会報その他、様々な啓蒙活動を今後も継続していきます。

◆少子化問題の解決の秘策 ～保育休暇3年間企業に義務付けと保育手当の創設～

- 5 ベンチャー企業の誘致とリハビリ病院の誘致
- 6 環境先進都市鎌ヶ谷構想

国の研究開発費や技術開発費の補助金を活用し、産業振興を推進。市民ファンドを作り、ベンチャー企業やリハビリ病院を誘致します。

分水嶺がある鎌ヶ谷は、下流の市の苦情も考慮し、川の水を汚さない努力が必要。水質浄化設備企業とのコラボで良い策有り。

- 7 障がい者の自立支援
- 8 市民との対話を重視・情報公開

障がい者に国の補助制度を利用して事業をしてもらい、自立の道を開く援助を推進します。

市民の皆様と力を合わせ、アイデア勝負で資金をかけずにできることを提案、推進。

原八郎の潜在力

原八郎後援会会長
中村 光判（てるさだ）

（経歴）早稲田大学 S32 卒業
東燃ゼネラル石油 H6 定年退職
鎌ヶ谷ふる里創生会 会長

原さんは誠実で豊富な知識の持主で、倫理の道を歩む政治家であります。12年間の政治活動は、数々の提案により「街づくり」の基盤づくりに貢献し将来の夢も膨らんでまいりました。

その夢を実現するためには、市民が主体となった「地域創生」が是非とも必要であります。原さんがそのリーダーとして、心に決めた潜在力を発揮するため、第4期の「街づくり」に挑戦することになりました。

どうか、皆様には、原さんの街づくりにご賛同たまわり、積極的にご参加頂きますよう、よろしく願い申し上げます。

明日への責任 子供たちの未来へ



乳幼児子育ての大切さ、
私たちの責任で！



4期目に挑戦

原 八郎

鎌ヶ谷市議会活動12年。12の改革成果と原八郎の八策

- 3 期目… 都市・市民生活常任委員会委員長、同委員会副委員長
- 2 期目… 総務常任委員会委員長、都市・市民生活常任委員会委員長
市民クラブ副幹事長、市民クラブ政策委員会委員長
- 1 期目… 文教常任委員会委員、民生経済常任委員会委員

経歴

- 昭和17年 埼玉生まれ、11人兄弟の8男坊、それで八郎です
- 昭和41年 大学4年の時、北海道層雲峡にてレンタサイクル業開業（ベンチャー企業のはじり）
- 昭和42年 早稲田大学法学部卒業
- 平成5年 三然商事株式会社設立 代表取締役就任
- 平成15年 鎌ヶ谷市議会議員、19年2期目当選、23年3期目当選

活動

- ◎都市・市民生活常任委員会委員長（H25～）
- ◎（社）倫理研究所 法人レクチャー（H19～） ◎鎌ヶ谷ソフトテニス連盟顧問（H15～）
- ◎日本レンタサイクル協議会理事長（S46～） ◎鎌ヶ谷学習療法普及会相談役

原八郎後援会事務所 皆様のご意見・ご提案をお聞かせ下さい。政策論議やご相談も大歓迎！

鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎ FAX : 445-3466 HP 原八郎 検索

原八郎 議員 12年間の改革成果

～市民の皆様の声とご協力で実現した 12 の改革～

1 予防医療・予防介護の施策

人口減少と高齢化による健康保険財政の破綻を防ぐため、また皆様の健康のため、食生活改善や軽スポーツ等で体を動かし、ストレスを解消を推奨、医療費・介護費の抑制に努力してきました。

2 認知症予防 学習療法導入

◆「脳トレいきいきサロン」開設 10年！
65歳以上の認知症人数、全国平均 15%、
鎌ケ谷市は 6%！認知症予防効果が顕著。



鎌ケ谷市は、全国に誇れる 6%！



◆「認知症予防講座」平成 23 年 1 月 23 日
2 回目の開催。500 名を超える受講者！
東北大学院川島隆太教授講演。

3 乳幼児子育ての大切さの啓蒙

(会報他、様々な場所で啓蒙。今後も継続して活動しますので、裏表紙「原八郎の八策」④をご参照ください)

4 歩道や交差点の改良整備

手通公園脇歩道。車椅子でも通れるよう整備完了！



※その他の歩道や交差点も、改良整備を努力しています。



← 船取線。
通行の妨げ、
歩道ど真ん中の
電柱移動完了！

初富交差点。
歩道が狭く危険。
改良整備推進中！

5 スポーツ施設の増設や整備

市民がスポーツをする機会を増やすことが、市民サービスや健康維持に繋がり、医療費の削減につながります。

- テニスコートの増設
- グランドゴルフ用広場開設
- 弓道・アーチェリー場を開設

6 市民ポストの設置

市への返送用の手紙を、公民館や市役所に設置した市民ポストに投函して頂くと、切手代が節約できます。(高齢者健康調査票、市民アンケート等)

◆市民の皆様のお手間と切手代を節約！



◆身障者のため公民館・学校等に洋式トイレ設置！

7 ジェネリック医薬品の普及

特許切れで研究開発費の負担がないため、通常の医薬品より5割～8割安いです。病院や薬局で、医療費削減と自己負担軽減にご利用下さい。活動継続中。

8 分水嶺(界)モニュメント作成



まなびいプラザ玄関前に設置。市民に作成費用をご寄附頂き、石組みのモニュメントを作成。市に寄附。

降った雨が手賀沼・印旛沼・江戸川の三方向に流れて行く鎌ケ谷市にある珍しい地理的遺産です。

ご寄附に
感謝！

9 職員の地域手当の削減

毎年 1 億 2000 万円の人件費を削減！

平成18年の財政危機で私が取り組んだ財政改革の1つ。給与と別に支給されていた地域手当を10%から7%に、2段階に分けて3%削減。19年度9%、県指定の7%に21年度に下げました。年間合計、1億2千万円の人件費を削減できていることとなります。

公務員の地域手当とは、昔は調整手当と言われたもので、民間企業との賃金格差を解消し、善き人材を集める目的で捻り出したものです。今は逆転し、公務員の方が高くなり、調整手当の名前が使えなくなり、地域手当と名前を変え、存続しています。鎌ケ谷市は国の指定で6%です。

10 教材等購入の入札制度見直し

特定業者の受注→自由に入札参加可能に！

特定商品を一括入札していたため、代理店契約商品が含まれると競争にならず、特定業者が一括納品していました。特定商品は随意契約として切り離すことにより、自由に入札に参加できる制度に変えました。

11 委員会、審議会の委員の兼任の数を制限

兼任数は最高5。たくさんの市民参加に！

たくさんの市民が参加できるようにという市長の方針もあり、今までは1人で11兼任していた人もいましたが、兼任数を最高5つまでに削減しました。

12 学校給食費の未払い解消

学校給食費の未払い、7割も解消！

簡易裁判の活用を提言。給食費未払の保護者が多数出てきたため、裁判活用で大幅に未払金を回収しました。払う能力があるのに払わない保護者に対する施策です。